

研究課題名	強角膜片摘出における止血困難例の背景因子の検討
研究期間	2024年12月12日～2026年3月31日
研究の対象	2023年1月～2024年8月の間の広島市民病院での献眼例
研究の目的・方法	研究目的：広島市民病院での献眼時の止血困難例の原因の追求と今後の対応方法の検討 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、止血困難例と非困難例のデータを比較します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢（何歳台か）、性別、病歴、死因、画像・血液検査結果、死亡から眼球摘出までの時間、病院到着前後の経緯
利用または提供を開始する予定日	2024年12月12日
個人情報の保護	広島市民病院にて、対象症例のデータをカルテから後方視的に集積し、臨床情報収集用のエクセルファイルを作成します。ファイルにはパスワードを設定し、カルテ番号・名前などの個人情報の記載のない匿名化されたエクセルファイルを作成します。研究責任者は、研究対象者毎に個人と関係の無い研究用番号を付して、個人と連結させるための対応表を作成して各研究対象者の個人情報を匿名化します。 広島大学でのデータ解析の際には加工後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含まれません。研究の成果を学会あるいは誌上に公表する際にも、個人を特定できる形では公表しません。学会発表等での提示方法を期間（20XX年）・年齢（何歳代）とし、個人が特定されないよう配慮します。
外部への試料・情報の提供	広島大学から他機関への提供はありません。 広島市民病院は、匿名化したエクセルファイルにパスワードを設定し、メールで広島大学に提供します。
研究組織	研究代表者 広島大学病院眼科 臨床教授 近間泰一郎 共同研究機関責任者 広島市民病院 救急科 岡崎 悠治 試料・情報の提供元機関およびその長 広島市民病院 病院長 秀 道広 業務委託先 なし

その他	開示すべき利益相反はありません
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 眼科 担当者：三笥 香穂里 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5247</p>